



# 第103期 中間報告書

2020.4.1 ▶ 2020.9.30

トップインタビュー

価値創造に向けて進化する  
グッド・カンパニーへ

中期経営計画  
**Transform  
2022**

～領域を超えて～

伊藤忠食品株式会社

証券コード: 2692



## 価値創造に向けて進化する グッド・カンパニーへ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業への厚いご支援を賜り、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げるとともに、感染症の終息に向け最前線に対応されている行政及び医療など、関係者の皆様へ深く敬意を表し感謝申し上げます。

2020年度(第103期)第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の概況をご報告し、通期業績の見通しについてご説明させていただきます。

2020年11月

代表取締役社長  
社長執行役員

岡本均

### 企業理念

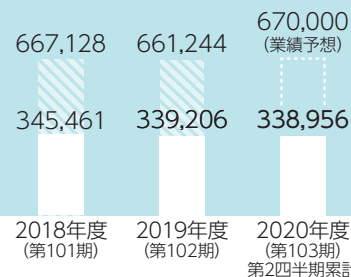
常に時代の変化と要請を先取りし、  
健康で豊かな食生活創りを通じて  
消費者と社会に貢献します

### ◆ 連結決算ハイライト (単位:百万円)

売上高

338,956百万円

(前年同期比0.1%減)



## 2020年度第2四半期までの業績

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が続くなか、食品流通業界では、感染拡大に伴う行動自粛の影響から「巣ごもり消費」が増加し家庭用の需要が活発化した一方、業務用の需要については減少傾向が続いております。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期までの経営状況は、前年の消費増税駆け込み需要の反動や、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により業務用・外食・百貨店との取引が減少したものの、スーパーマーケットとの取り引きが好調に推移しました。商品分類別では、「嗜好品・飲料」「調味料・缶詰」「麺・乾物」の売上が伸長した一方、「ビール」の売上は、低価格のRTD\*へ消費者の嗜好が変化していることに加え、業務用及び外食取引の不調も響き減少しました。

\* RTDとは「Ready to Drink」の略語で、缶チューハイや缶カクテル、ハイボール缶などのアルコール飲料を指します。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高が3,389億56百万円(前年同期比0.1%減)とほぼ横ばいとなりました。利益面では、一部取引形態の変更があったことを主要因とする売上総利益の減少があったものの、物流関連費用や一般管理費の改善が寄与したことから、営業利益19億2百万円(同35.8%増)、経常利益25億18百万円(同30.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益18億20百万円(同39.8%増)と、営業利益以下、全ての利益項目で前年同期比増益を果たし、7月31日公表の上期業績予想を上回る進捗となりました。

## 中期経営計画にもとづく取り組みの進捗

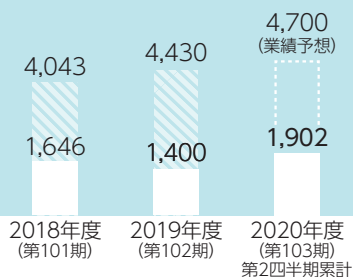
当期は、2022年度を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Transform2022 ～領域を超えて～」の初年度で

■第2四半期累計 ■通期

詳細はP7-8をご覧ください。

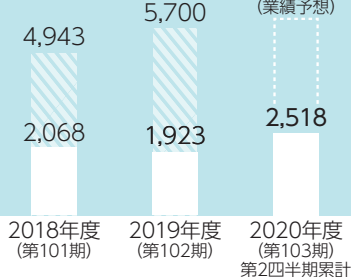
### 営業利益

1,902百万円  
(前年同期比35.8%増)



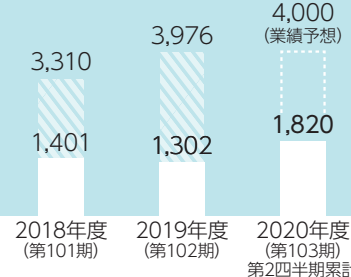
### 経常利益

2,518百万円  
(前年同期比30.9%増)



### 親会社株主に帰属する四半期純利益

1,820百万円  
(前年同期比39.8%増)



(注) 2019年度より百万円未満を四捨五入で記載しております。なお、2018年度についても、同様の記載に変更しております。

す。本計画は、消費者を起点とする新価値の創出を目指し、「既存事業の基盤強化」と「リテールサポート機能の進化」を推進するとともに、事業を通じた社会課題解決への取り組みにより、卸売事業の次世代化を支える持続的成長基盤を構築していくものです。

この中計で取り組む重点分野は、デジタルサイネージ、惣菜、物流の3分野です。

デジタルサイネージの活用では、資本業務提携先である(株)エブリーと連携し、消費者目線の新しい売場づくりを推進中です。定量的な成果はこれからですが、アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、デジタルを活用した広告・販促のニーズは高く、全国のスーパーマーケットを中心に導入を進めています。

惣菜の取り組みでは、これまで手薄だった首都圏に加え、既存の注力エリアである関西圏・東海圏においても取引のさらなる強化に取り組んでいます。

物流面では、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、食の中間流通を支える卸売業としての責務を果たすべく、物流インフラの整備を進め、サプライチェーンの維持に注力をしました。また、BCP対策強化として、新型コロナウイルス対策を各事業所や物流現場で進めるとともに、昨今増加している風水害対策に重点を置いた訓練を実施するなど取り組みを進めています。

これら3つの重点分野はコロナ禍によって大きく環境が変わるであろう食品流通業界において、当社が自らの足で立ち、持続的成長を続けていくための戦略です。そしてこの戦略を力強く推し進めていくためには企業文化も進化させる必要があると考え、当社は10月1日付でダイバーシティ推進室を新設しました。まず取り組むのは女性活躍推進です。消費者の購買決定の大部分を女性の意見が占め

ていると言われており、より消費者を起点としたビジネスモデルに変えていくには、これまで以上に女性の活躍が必要だと考えております。女性活躍を皮切りに、様々な多様性を受け入れ、従来の卸売業の殻を破り、より魅力ある企業に変わっていきたくと考えています。

### 通期業績の見通しと利益還元について

通期の連結業績については、期初の業績予想を変更せず、売上高6,700億円(前期比1.3%増)、営業利益47億円(同6.1%増)、経常利益60億円(同5.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益40億円(同0.6%増)を見込んでいます。

上期の段階で、当期純利益の予想数値に対する進捗率は46%と順調に推移していますが、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費者の節約志向が強まっているなか、価格競争の再燃など消費動向の変化が予想されます。こうした状況を見据え当社グループは、ニューノーマル(新常態)に適應すべく、中期経営計画の実現に向けた布石を打っていく考えであります。

以上を勘案し、通期業績については期初予想数値を据え置くこととしました。引き続き基礎収益力の強化を図りながら、赤字取引の改善を進めていくことで、見通しどおり進捗するよう努めてまいります。

なお当期の中間配当は、予定どおり1株当たり40円とさせていただきます。期末配当予想の40円と合わせて、年間配当額は、前期比5円増配の同80円となる見込みです。株主の皆様におかれましては、これからも長きにわたるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 経営ビジョン

価値創造に向けて進化する  
グッド・カンパニーへ

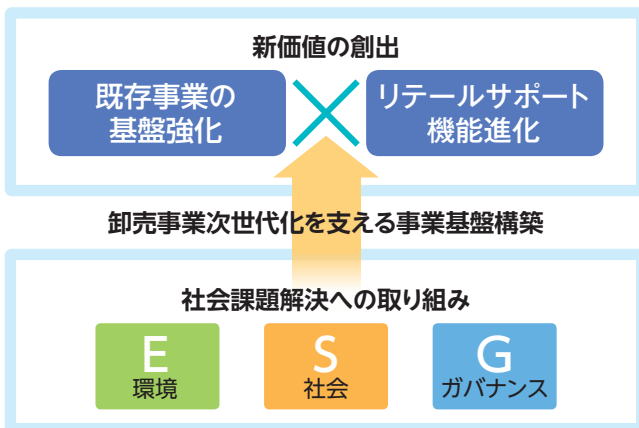
## ■ 2020年度(第103期) 連結業績予想

売上高	6,700億円
営業利益	47億円
経常利益	60億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	40億円

## 中期経営計画「Transform 2022～領域を超えて～」をスタート

## 目指す姿

- 売場作りへの貢献度向上・新価値創出
- 社会課題解決への取り組みによる  
持続的成長基盤構築



## ■ Transform 2022の重点分野

## 重点分野

- ✓ 重点3分野への成長投資  
(サイネージ・惣菜・物流)

⇒戦略的な意義と収益性に  
優れた案件に限定



ISC 伊藤忠食品 × every.tv

# 新価値創造に向けた リテールサポート機能進化

## 消費者の食生活を豊かにする 新価値を届けてまいります

当社は今期より新たな中期経営計画「Transform 2022～領域を超えて～」をスタートしました。消費者を起点とした新価値の創出に向け、「既存事業の基盤強化」「リテールサポート機能進化」を掲げています。

「リテールサポート機能進化」に向け、資本業務提携先である株式会社エブリーと連携し、重点分野の一つである「DELISH KITCHEN」のレシピを活用した店頭デジタルサイネージの設置拡大に取り組んでいます。

サイネージと売場を連動させることで、消費者目線の新しい売場づくりを推進しており、全国のスーパーマーケットを中心に導入を進めています。



レシピ動画と連動した売場づくりを推進しています。



当社東京本社の総合受付では、DELISH KITCHENを活用した売場イメージを展示し、取引先へのご提案に活用しています。

「DELISH KITCHEN」アプリの  
ダウンロードはこちらから



App Store



Google Play

非対面・非接触で「送る」「受け取る」

# メール便で届く ポスト投函型 デジタルギフトを拡充



従来より商品開発に取り組んできた「ポスト投函型デジタルギフト」が  
キャンペーン商品としてニーズが高まっています。



ポスト投函型デジタルギフトは、キャンペーン主催者がメールやSNSなどを使ってギフトコードを送信するだけでエンドユーザーにプレゼントを贈ることができます。またメール便での配送のため、エンドユーザーは外出・対面することなく受け取りが可能となることから好評をいただいています。2020年6月に「選べるカレーデジタルギフト」を発売し、商品ラインアップを7種類へ拡充しました。今後も当社はデジタルギフト全体の利便性を高めることで、ギフト分野において新たな価値を創造してまいります。

## ● ポスト投函型ラインアップ ●



## 「凍眠市場ギフトカード」発売!

株式会社テクニカンと共同で立ち上げた冷凍食品ブランド「凍眠市場」のギフトカードを本年11月から取り扱いを始めました。解凍しても「限りなく生に近い風味・食感」を味わえる約20種類の商品ラインアップを取り揃えています。



## 当社株主優待もデジタルギフトへ

2020年6月から、当社の株主優待はデジタルギフトへ変更となっております。

詳細は本冊子裏面をご覧ください。

※画像はイメージです。

# 連結決算の概要

## ▶ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

### 売上高

**338,956** 百万円 

(前年同期比0.1%減)

前年の消費税増税駆け込み需要の反動や新型コロナウイルス感染症拡大により外食・業務用・百貨店向け売上が減少した一方、内食需要の高まりに伴いスーパー向け売上が好調に推移したことなどにより、前年並となりました(前年同期比250百万円減少)。

### 営業利益

**1,902** 百万円 

(前年同期比35.8%増)

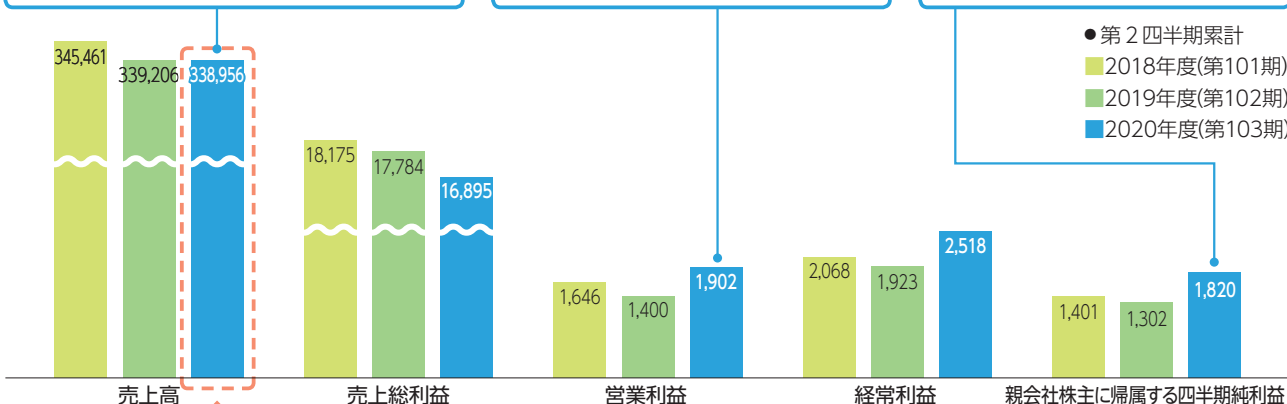
前年度期中より一部取引形態の変更があったことを主要因とする売上総利益の減少はあったものの、物流費の減少、一般管理費の改善などにより、前年同期比で502百万円の増加となりました。

### 親会社株主に帰属する四半期純利益

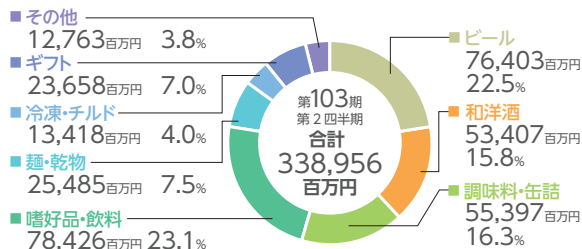
**1,820** 百万円 

(前年同期比39.8%増)

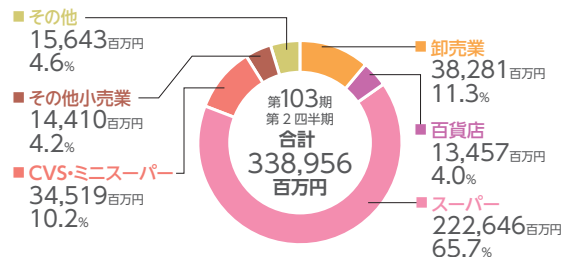
経常利益の増加に加えて、特別利益等により、518百万円の増加となりました。



### 商品分類別 売上高構成比



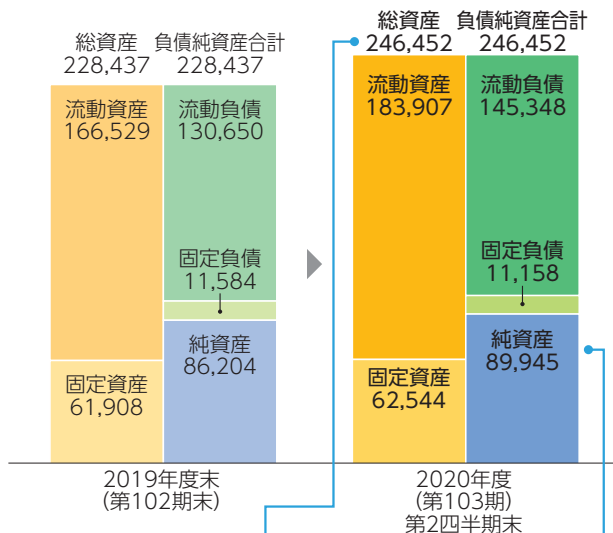
### 業態別 売上高構成比



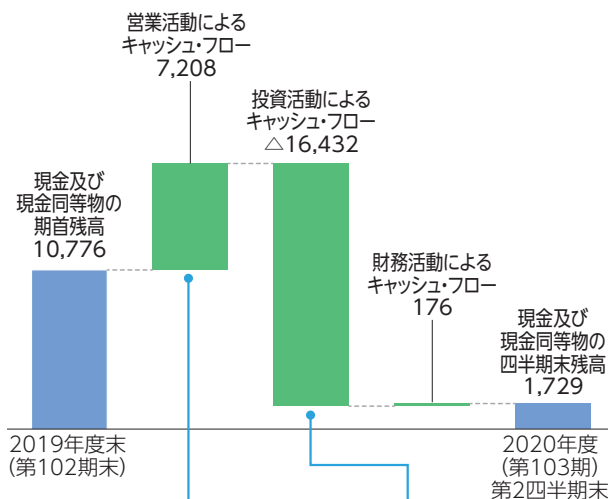
(注)「ビール」には、発泡酒、ビール風アルコール飲料(第3のビール)の売上高を含んでおります。



▶ 資産、負債及び純資産の状況 (単位:百万円)



▶ 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



総資産

246,452

百万円

総資産は、2,464億52百万円となり、前期末に比べ180億14百万円の増加となりました。これは、季節変動要因により売上債権が56億30百万円、未収入金が35億60百万円増加したことに加え、グループ預け金が84億円増加したことなどによるものであります。

純資産

89,945

百万円

純資産は、899億45百万円となり、前期末に比べ37億41百万円の増加となりました。これは、利益剰余金の増加に加え、その他有価証券評価差額金が25億29百万円増加したことなどによるものであります。

営業活動による  
キャッシュ・フロー

7,208 百万円  
の収入

営業活動によるキャッシュ・フローは、72億8百万円の収入となり、前年同期と比べ67億47百万円の収入の増加となりました。これは、前連結会計期間における前期末の休日要因の解消による支払増加の影響などによるものであります。

投資活動による  
キャッシュ・フロー

16,432 百万円  
の支出

投資活動によるキャッシュ・フローは、164億32百万円の支出となり、前年同期と比べ6億88百万円の支出の増加となりました。これは、グループ預け金の支出(払戻との純額)が70億円増加した一方で、投資有価証券の取得による支出が54億27百万円減少したことなどによるものであります。

(2020年9月30日現在)

商号 伊藤忠食品株式会社  
 創業年月日 1886年2月11日(明治19年2月11日)  
 設立年月日 1918年11月29日(大正7年11月29日)  
 資本金 4,923,464,500円  
 従業員数 連結1,197名 個別875名  
 事業内容 酒類・食品の卸売およびそれに伴う商品の保管、  
 運送ならびに各種商品の情報提供、商品流通に関する  
 マーチャンダイジング等を主とした事業活動を展開。  
 本店所在地 大阪市中央区城見2-2-22  
 大阪本社  
 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22  
 電話(06)6947-9811  
 東京本社  
 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7  
 電話(03)5411-8511

役員	
代表取締役社長・社長執行役員	岡本 均 監査役(非常勤)***増岡 研介
取締役・常務執行役員	川口 浩一 監査役(非常勤) 長島 秀昭
取締役・常務執行役員	河原 光男 監査役(非常勤)***山岡信一郎
取締役・常務執行役員	角田 憲治 常務執行役員 酒井 健雄
取締役・執行役員	中島 聡 執行役員 魚住 直之
取締役(非常勤)*	橋本 健 執行役員 大崎 剛
取締役(非常勤)*	宮坂 泰行 執行役員 山村 芳幸
取締役(非常勤)*	奥田 高子 執行役員 大塚 剛
取締役(非常勤)	萩原 武 執行役員 田村 恭紹
常勤監査役**	姫野 彰 執行役員 小谷 信之
	執行役員 福嶋 義弘

(注) \*独立社外取締役 \*\*社外監査役 \*\*\*独立社外監査役

子会社・関連会社 ■連結子会社 ■非連結子会社 ■関連会社

卸売業／■(株)スハラ食品 ■(株)中部メイカン  
 投資事業／■ワイ&アイホールディングス(同)

小売業／■(株)宝来商店  
 物流管理・運送業／■新日本流通サービス(株)  
 サービス業／■ISCビジネスサポート(株) ■(株)アイ・エム・シー

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

特別口座の  
 口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店でっております。

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

\* 公告掲載の当社ホームページアドレス

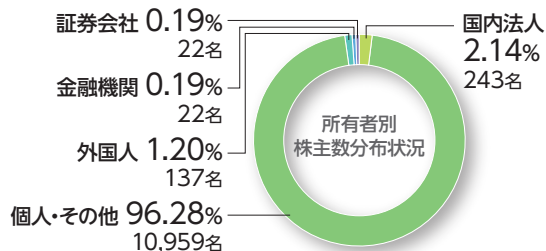
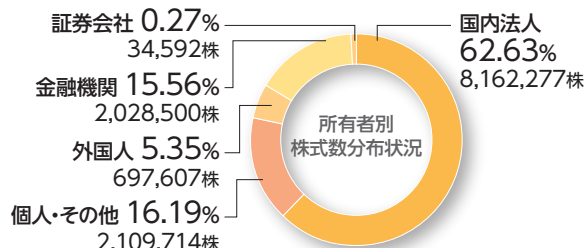
<https://www.itochu-shokuhin.com/>

単元株式数 100株

証券コード 2692

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株  
 発行済株式の総数 13,032,690株  
 株主数 11,383名



## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	6,620,316	52.18
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール株式会社退職給付信託口)	815,000	6.42
味の素株式会社	339,129	2.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	309,400	2.44
アサヒビール株式会社	296,500	2.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	272,700	2.15
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	249,300	1.96
伊藤忠食品 従業員持株会	136,900	1.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	98,900	0.78
はごろもフーズ株式会社	87,100	0.69

(注) 1 上記のほか、自己株式が345,412株あります。

2 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

3 株式会社日本カストディ銀行(三井住友信託銀行再信託分・アサヒビール株式会社退職給付信託口)の所有株式は、アサヒビール株式会社が所有していた当社株式を三井住友信託銀行株式会社に信託したものが、株式会社日本カストディ銀行に再信託されたもので、議決権はアサヒビール株式会社に留保されております。

4 みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行の所有株式は、株式会社みずほ銀行が所有していた当社株式をみずほ信託銀行株式会社に信託したものが、株式会社日本カストディ銀行に再信託されたもので、議決権は株式会社みずほ銀行に留保されております。

## ご案内

住所変更、  
単元未満株式の  
買取等のお申出先

証券会社に口座のある株主様 ▶ 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため  
特別口座を開設されました株主様 ▶ 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金のお支払い」  
について

配当金領収証にてお受取りの  
株主様 ▶ 「支払通知書」に替えて「配当金計算書」を同封いたしております。

口座振込を指定されている株主様 ▶ 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。

## 未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

# 株主優待について



※画像はイメージです。

3,000円相当

厳選された約50種類の商品からお好きな商品をお選びいただけるデジタルギフトです。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された単元株式数(100株)以上保有の株主様に、当社オリジナルギフト商品をご賞味いただける株主優待を行っております。株主優待のご案内は6月を予定しております。

※優待商品は変更となる場合がございます。



あらびきポークウインナー



氷温熟成 西京漬けギフトセット



氷温熟成 辛子明太子(上切れ子)



長崎ギフト詰合せ



十勝アイスマルク



五郎島金時 ミニバウムクーヘン

「商業高校フードグランプリ」  
出場商品も優待に!!

岸和田市立産業高等学校  
みそこんぶもん



## 株主優待が届くまで

1 3月末  
株主優待権利確定

2 6月  
株主総会后、配当金書類とともに株主優待に関するご案内をご郵送いたします。優待商品をお選びいただき、お申し込みください。

### STEP.1

#### アクセス

商品交換サイトにアクセスし、ギフトコードを入力してください。

### STEP.2

#### 商品を選ぶ

お好みの商品を選択し、お申し込みください。  
※商品画像はイメージです。



### STEP.3

#### 必要情報の入力

お届けに必要な情報を入力いただくと、お申し込みは完了です。



3 お届け  
お選びいただいた優待商品がお手元に届きます。

ISC 伊藤忠食品株式会社

- 大阪本社 〒540-8522 大阪市中央区城見2-2-22 電話 (06)6947-9811
- 東京本社 〒107-8450 東京都港区元赤坂1-2-7 電話 (03)5411-8511
- インターネットホームページURL <https://www.itochu-shokuhin.com/>

UD  
FONT



本報告書は、環境保全のため、FSC®認証紙を使用して植物油インクで印刷しています。